

第 27 回 つくば臨床医学研究開発機構シーズ評価委員会 議事概要

日 時：令和 4 年 1 月 24 日（月）13:00～17:40

場 所：筑波大学健康医科学イノベーション棟 8 階講堂（ハイブリッド開催）

出席者：荒川（委員長）、浅井、川上、小柳、陳、土屋、鶴嶋、野口、橋本、三澤、宮崎、森田、山田、和氣

（事務局）

須藤、阿部（祐）、辻、阿部（正）、河内、小野瀬、石田、内田、大島、安保、高岡

（出席者は全員守秘義務について署名）

【議事】：

1. シーズ B の評価結果について

- 前回のシーズ評価委員会にて行われたヒアリング評価の結果及び大学病院臨床試験アライアンスでの選定結果に基づいて、6 件のシーズ B（機関内 1 件、機関外 5 件）を機関採択シーズとして、AMED 橋渡し研究プログラムへの応募に向けて支援することの報告がなされた。

2. 令和 4 年度「橋渡し研究プログラム」公募結果（シーズ A）

- 筑波大学拠点として、令和 3 年 10 月 18 日から 12 月 17 日に行った公募において、シーズ A に関する新規応募が 38 件（機関内 20 件、機関外 18 件）あったことに加えて、令和 3 年度の新規採択シーズのうち、令和 4 年度の支援継続を希望する 23 件から初年度の実績報告の提出があったことの報告がなされた。

3. シーズ A の評価・選定の進め方

- 「筑波大学拠点シーズ A 評価実施要領」（以下「評価実施要領」という。）に基づいて、シーズ A の評価及び選定の方法等について説明が行われた。

4. シーズ A の評価（ヒアリング）

- 委員の利益相反の有無を確認のうえ、委員会に先立って、新規に応募があった 38 件のシーズ A を対象に、1 シーズあたり 3 名の委員により行われた書面での予備評価の結果が報告された。
- 予備評価の結果に基づいて、委員の評価点の平均が高かった 24 件（機関内 16 件、機関外 8 件）についてヒアリングによる評価を 2 日に分けて行うこととされた。
- 引き続き、16 課題のヒアリングを行った。

以上